

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



シドニー事務所

ウェリントン日本祭りで日本各地の魅力を発信

11月26日、ウェリントン日本祭りが開催されました。この祭りは、ウェリントン市役所、在ニュージーランド日本大使館およびアジアニュージーランド基金が主催で、2年に1度開かれ、日本食や書道、落語、和太鼓などさまざまな日本文化を楽しんでもらうイベントとなっています。シドニー事務所もブースを出展し、ウェリントン市の姉妹都市である堺市をはじめ各自治体の観光やJETプログラムのPRを行いました。元JET参加者を含むニュージーランド姉妹都市協会の方々にもお手伝いいただき、JETプログラムの魅力を参加者の視点から伝える場面もありました。日本とニュージーランド間には40を超える姉妹都市があるなど盛んな自治体間交流を背景に、ブースは大いににぎわいました。



ロンドン事務所

ストックトン=オン=ティーズ市への訪問

12月1日から2日にかけて、イングランド北東部に位置し、広大な工業地帯を持つストックトン=オン=ティーズ市をロンドン事務所職員が訪問しました。市役所などで地域活性化の取り組みを学ぶとともに、日系企業の社長や行政関係者の方々とも意見交換を行いました。同市のメイヤーであるケン・デュクソン氏とも面会し、街の歴史やメイヤーの仕事内容について説明を受けました。同市は街の活性化のため、特にビジネスの誘致や新規ビジネスの立ち上げの支援に力を入れており、経済成長開発局長リチャード・マクガキン氏は、「日系企業の投資はわれわれにとって雇用を創出する大変重要なものであり、今後も投資を誘致できるよう力を入れていきたい」と語っていました。



ソウル事務所

世界へPR！「天皇誕生日祝賀レセプション」でブース出展！

ソウル事務所は、11月29日、12月8日および13日の3日間、在韓日本大使館などの在外公館の主催によりナショナルデーとして韓国各地で開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加しました。ソウル市内で開催されたレセプションでは、韓国の政府や自治体、各国外交団の関係者など約700名の来賓が参加する中、茨城県、富山県、京都府、鳥取県、愛媛県、高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県など22の自治体が観光PRや日本酒などの試飲を行い、日本の地域の魅力を発信しました。

年間400万人以上の訪日観光客を擁する韓国では、日本の地方への関心も高まりつつあり、今後、有名観光地以外への韓国人観光客のさらなる増加が期待されます。



JETプログラム事業部

JETプログラム終了前研修・キャリアフェアを開催します！

2017年2月20日～21日、総務省、外務省、自治体国際化協会（CLAIR）主催で、JETプログラム終了予定者を対象に「終了前研修（After JET Conference）」を横浜で開催します。本研修では、元JET参加者を含む、国内外のさまざまな業界で活躍する関係者等が、現在の就職市場およびさまざまな業種・職種や、国際交流活動に関する情報を英語で提供する予定です。

また、グローバルな人材を求める企業などと国際感覚を身につけたJET参加者の出会いの場および選考の場を提供する目的で、JETプログラム終了前研修に合わせて、2月21日の午後にJETプログラム終了予定者および元JET参加者を対象にしたCLAIR主催のキャリアフェアを開催します。昨年度のキャリアフェアは千葉で行われ、グローバル人材を求める53の企業・団体などの人事関係者と出会う機会となりました。今回も、多くの企業などが参加する予定であり、日本で就職を希望する多くのJET参加者との出会いが期待されます。



北京事務所

JET 経験者との意見交換会を上海で開催！

12月15日、上海市で「JET 経験者意見交換会」を開催しました。JET プログラム 30 周年となった 2016 年は、中国でも JET 経験者同士のさらなる連携強化を目指して、各地で意見交換会を開催しており、陝西省安康市、湖北省武漢市に次いで 3 か所目の開催となりました。

現地の地方政府職員や日本語教師など 12 名が参加し、「JET を経験して感じる、日中地域間交流の重要性とは」「JET 経験者同士の交流・連携のあり方について」というテーマのもと、活発な意見が交わされました。「日本の方に客観的に中国の事を伝える必要がある」「日中双方の理解のもと、相互の交流が必要であり、継続していくことで必ず実を結ぶ」といった力強い意見が印象的でした。



シンガポール事務所

クアラルンプール市へ千葉市職員を社会福祉の専門家として派遣

マレーシアの首都クアラルンプール市からの依頼を受け、11月20日（月）から11月25日（金）にかけて同住宅管理・社会開発局に千葉県千葉市の職員を社会福祉の専門家として派遣しました。

マレーシアにおいても経済発展の陰にある貧困対策が喫緊の課題となっています。

現地ではホームレスシェルターなどを視察した後、低所得者の収入向上のための方策について、日本の事例を交えながらクアラルンプール市役所の職員に講義しました。市の実情に合わせたきめ細やかなアドバイスが、今後の社会福祉政策に生かされることが期待されます。日本の自治体職員の経験や技術は大いに ASEAN 諸国の一助となりますので、ぜひ奮ってご参加ください。



ニューヨーク事務所

州議会議員らに対し日本のプロトコルを説明

全米の州議会議員や州政府高官の政策立案などを支援する組織である州政府協議会（CSG）の年次総会がヴァージニア州で開催され、政策論議や関係者の交流が行われました。当事務所は CSG の依頼を受け、国際儀礼をテーマにした分科会において、福富上席調査役が日本のビジネスマナーなどについてプレゼンテーションを行いました。名刺交換や配席の考え方など、日本の慣習について出席者の関心も高く、多くの質問が寄せられました。



パリ事務所

クレアパリ主催企画展「伝統と先端と」開催

11月22日～12月3日、フランス・パリ市の日本文化会館にて、クレアパリ主催の企画展第4回「伝統と先端と」を開催し、約4,000人の来場者で賑わいました。日本の地方が有する、まだ世界で知られていない優れた伝統技術・現代的技術を分かりやすく紹介し、企画展後はパリ市内の店舗にて販売も行いました。来場者からは、「出展品の技術力やデザイン性の高さには驚かされる。各々の説明文もあり見ごたえのある展示会だった。」などの声をいただきました。当事務所では来年度も継続して実施する予定です。出展などについて、お気軽にお問い合わせください。問 合 せ：contact@clair-paris.org



交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナー（ニューヨーク事務所管内）を実施しました。

11月27日から12月7日までの行程で静岡市において、「子どもから高齢者まで健康的に長生きできるまちづくりの推進」をテーマに講義、視察および意見交換を実施しました。参加したアメリカ・カナダの9名の自治体幹部からは、市内の施設を視察するたびに多くの質問がなされ、自らの自治体と比較した意見も寄せられました。特に、小学校の教育現場や保健福祉センターでは、子育て・高齢者・介護支援の現場を目の当たりにし、静岡市の健康長寿のための包括的な取り組みについて高く評価されていました。



多文化共生課

外国人コミュニティ会議を開催します

「災害時に必要な情報は何か」をテーマに、平成 29 年 2 月 17 日（金）自治体国際化協会で「外国人コミュニティ全国会議」を開催します。平成 28 年 4 月に発生した熊本地震の状況をもとに、災害時多言語支援センターを設置・運営した側、外国人コミュニティ側、支援を行った側、それぞれの視点から発表し、パネルディスカッションを通じて会場の参加者と意見交換が行える貴重な機会です。是非ご参加ください。クレア多文化共生課のホームページからお申し込み下さい。

